

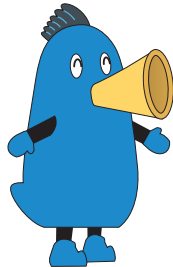
ヒューレ通信

第12号(2025年1月)

「J:COMホルトホール大分」の中にある人権啓発センター(ヒューレおおいた)を紹介します。人権啓発センター(ヒューレおおいた)は、2013年7月20日に開館し、今年で12年目となります。人権体験学習をはじめ、常設展示や特別展示、図書やDVDの貸出し、人権相談などに取り組んでいます。特にこれから大人への階段を上っていく中学生にはぜひ来ていただきたい施設です。

新札にもユニバーサルデザインがたくさんあります!

2024年7月3日に新しい「日本銀行券」(新札)が発行されました。旧札にもユニバーサルデザインが取り入れられていましたが、より誰もが使いやすいように、更なる改良が施されました。今回はその工夫の一部を紹介します。



ヒューレおおいた 人権講話&体験学習

大分市内の多くの中学1年生のみなさんに、「ヒューレおおいた」を利用させていただきました。どの学校も講話や体験を受ける姿から、お互いを思いやる心が感じられ、嬉しく思いました。



「通れない道が多いことに驚きました。手助けできる人になりたいです。」



「高齢者の不自由さを体験し、高齢者に対する思いやりの気持ちの必要性を感じました。」



「見えない事の怖さを感じ、ガイドさんのありがたさを痛感しました。」

人権講話を通して、多くの生徒たちが、自分の中のアンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に気づいたり、他人への接し方を振り返ってみたりなど、自分自身を見つめる良い機会になったようです。また、体験をしてはじめて、妊婦さんや高齢者の方々、目が不自由な方々、車いすの方々の大変さを感じることができたようでした。学習の成果を宿泊体験学習での活動や今後の学校生活に活かすことができたという話も先生方から聞くことができました。ありがとうございました。



キズナーズと記念写真



「お腹が大きくて重いだけで普段できていることができなくて大変でした。親に感謝です。」



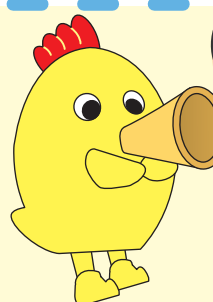
「クイズなどもあり楽しく話を聞く事ができ、仲間と呼べる集団になりたいと思いました。」

にんげん劇2024 --- 夏休みイベント ---



にんげん劇「うちの父、かします!」

にんげん劇2024では、大分豊府高校演劇部「豊劇」による「うちの父、かします!」が上演されました。「ヤングケアラー」を題材にした内容で、会場の中学生たちは、笑ったり、真剣な顔をしたりと、熱中して観ていました。



自分の中の『思い込み』と向き合ってみませんか?

Q.この文章を読んで違和感はなかったですか?



ボッチャ、楽しいよ。



夏休みイベントでは体験学習の他、アニメ「アンネ・フランクと旅する日記」の上映会もありました。たくさんの方が観に来てくれました。展示も好評でした。

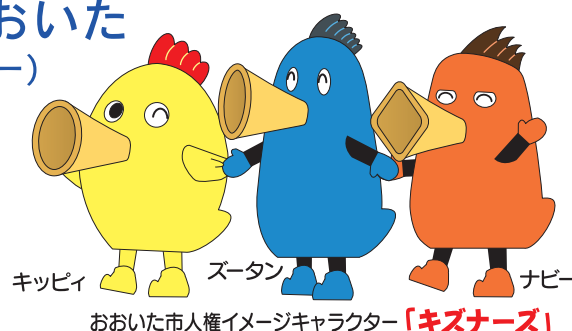
無意識バイアスクイズ

ある中学校の授業中、教頭先生が突然教室に入ってきて、授業を受けていたAさんに向かってこう言いました。「Aさん、今、親御さんの職場から電話があって、機械工場で作業中に事故が起きて親御さんが重傷を負って、病院に運ばれたそうです。急いで帰る準備をして病院に行ってください。下にお父さんが迎えに来ています。急いでください。」

A. 機械工場で働く親=母です。

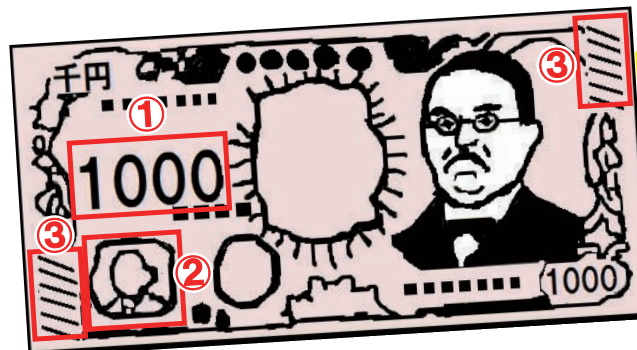
ヒューレおおいた (人権啓発センター)

開館時間 午前9時～午後6時
休館日 第2・第4月曜日
大分市金池南1丁目5番1号
J:COMホルトホール大分1F
TEL 097-576-7593
FAX 097-544-5708



おおいた市人権イメージキャラクター「キズナーズ」

人権啓発の英語表記「human rights enlightenment」(ヒューマン ライツ エンライトメント)の頭文字「hure(ヒューレ)」をとって「ヒューレおおいた」としました。



①～③の他にも、様々な工夫が施されています。ぜひ、調べてみてください。



- ①従来の紙幣よりアラビア数字が大きく、UD文字を使っている。
- ②紙幣によって、ホログラム・すき入れの形や配置を変えている。
- ③紙幣によって、指で触ってわかる識別マーク(11本の斜線)の配置を変えている。